

今年度のアンケートの結果とこぴーぬ反町ルームの取り組みについてご報告いたします。

今年度も例年と大きな変化が見られない結果となりました。

人員が充分でないというところは、事業所としては大きな課題です。一般応募しても、ほとんど応募がない現状です。

職員のスキルアップとしては、今年度は外部の研修サイトを導入し、個々に目標を立て、計画的に学びを深めていくことを継続しています。

保護者からは、活動内容や児童の個性を考慮した支援には良い評価をいただいています。短い利用時間の中、今何が必要か、優先順位を考え、個々に必要なプログラムを考えています。特に伸ばしたい課題については、支援を強化して行うようにしていきしました。（専門的支援）できるようになった！！ステップアップが見えやすいなど良い点が多いと思います。

障がいのない子どもとの活動の機会を持つことは時間的に難しく、学校休業日に地域のイベントに参加することで交流の機会を作っています。児童クラブとの交流は、双方のスタッフ配置等が、人的、時間的に難しく実現には至りませんでした。今後は、利用児童の兄弟児のお友達等と一緒に活動する機会を作っていくことを検討していきたいと考えています。

父母会の開催については、希望される方がいないので、イベントへのお誘いをしています。今年度も、いろいろなイベント（夏まつり、ハロウィンなど）に保護者様やご兄弟に参加して頂くことができ、ご家族様同士の交流の機会も作れたのではないかと思います。

今後は、同じ悩みを持つ保護者様同士が集まる機会をつくることも検討しています。お互いに経験談を語ることで、子育てのヒントをもらえたり、悩みを相談できたりするのではないかと思います。